仕事も手につかかん

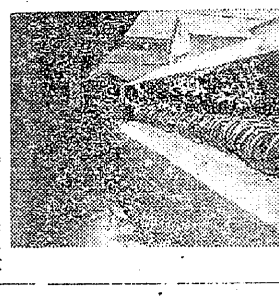
雨ビッシヨリの自轉車

さいきんの三川支部の落書帳にしよつちゆう訴えているのに「自転車置場」の拡張がある。

この三川の自転車置場は以前から何とかならないものかと、利用者の間では囁かれていたものであつた。現在の置場は組合事務所の横と正門から入つてすぐ左側にあるところの二カ所に設けられているが、事務所横が三交替用、正門から入つて左側のが常一番用になつている。

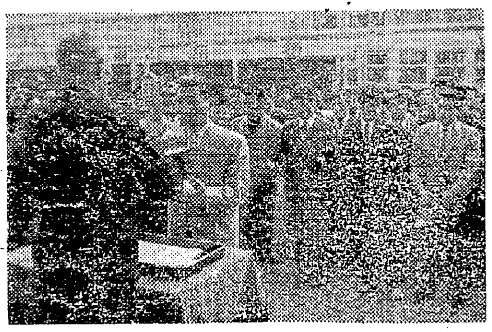
ところでいま自転車通勤者はどのくらいだろうかと調べてみたら常一番が約千人、三交替が約三千人というから、だいたい四千台の自転車が収容されていることになるだがこの外にも普通は自転車につて通勤していない人が、臨時に自転車をもつて通勤しているのがあり、自転車預りの係でも予備札を用意してあるが、これが一日平均三・四〇台は出されているという。

早出で場所とり



常一番の置場でも小屋にはギツシリつまつていて、ここに入りきれないのが通路にズラリとならべているありさまで、全くの青空天井である。

三交替の方は全部収容されるということはなく一方分だけであるが一番と二番、二番と三番、三番と一番の各方の交替時には二方分がつまることになるので一番混雑するときであり、ラツシユ時をすぎれば大体収容されているが、それまでにはここも同じく青空天井組が大分出てくるありさまである。



とにかく小屋の中に自転車を入れねばと自転車通勤者にとつては、これが一番の目的だそうで、このため家を早く出てくる人さえあるありさまだ。

運悪く小屋の中に収容していない人にとつては、もしも雨の日であれば処置なしで、折角無理して買つた新車も雨の洗礼を受けねばならぬありさまで寿命も大分短かくなるとなげいている人もあり、なかには天候が気にかかつて坑外に電話をかけ、雨が降つていると聞けば自転車のことが気にかかつて仕事が手につかないと訴える人も出てきている。

これに輪をかけて置場の狭いために埃ものすごく、帰りにはサドルなど埃がつもつているときもあるといわれ、早急な自転車置場の拡張、増設を望む声が高くなつている。

ところがいまの自転車置場はもうギリギリのところで、これ以上の拡張は望めず、どこかに敷地を探して新築するほかはないありさまである。

労仂部談　この問題は既に交渉も行つており、既設の所ではもう場所がないので裏門附近につくつたが一五〇台位しか収容できていない。次期予算に組んで新しい敷地に作ることにしている

×　×

兼行選手の独走

好記録で初優勝とぐ

九州陸協、熊本県体協、熊日共催の金栗四三氏紫綬褒章受賞を記念する第一回熊日招待マラソン大会は二十四日、精鋭八十五選手の参加で熊日本社前から菊池郡原水折返しの三十キロのコースで華々しく開催されたが、四山支部のベテラン兼行選手も出場強豪を尻目に好調の独走をつづけ一時間四十分二十秒の快記録で輝く優勝をとげた。

「こんどの大会は最高調だからきつとやれますよ」とレース前日こう語つていた同君の予想にたがわず、前半からピタリとトツプグループに併走、後半二十二キロから一気にスパートをかけて独走をつづけた。

〃三つの歌で〃賑う

港務主婦会の慰安会

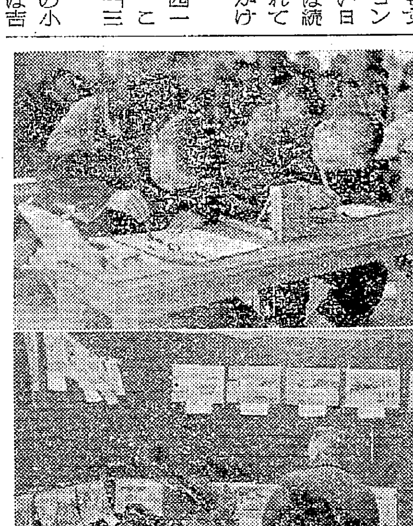
港務支部主婦会では去る三十一日慰安会を延命公園で午前十時から開催した。

会場を公園入口の左手にある遊園地に設け、野外舞台をこさえての青空慰安会であつた。

この日は前夜の雨もようの気づかわれていた天候もうそのようにカラリと晴れわたり、全く気持もすがすがしい恰好のリクレーション日和。家族連れの遊園客の多い日曜日とあつてこの日の公園には続々と人出があり、会場から流れてくるメロデーに何事かとつめかけるありさまであつた。

慰安会場に集つた主婦たち約四一〇名、全員労働歌合唱ののち、この日の呼びものの一つである「三つの歌」大会が行はれた。伴奏者は名アコーデオン弾きの小北厚生部長、司会をつとめるは吉崎教宣部員で、ユーモアたつぷりの名司会ぶりは会場をどつと湧かせ一人で人気をかつさらつた。

〃私のラバさんしゆう長の娘、色は黒いが…〃など見事第一番に三つの歌合格はだれあろう山下支部長だつた。日ごろのモサも場違いのステージに立つて勝手がちがつてキヨロキヨロ、このあとつぎつぎと出場した主婦たちも、あるいは詰つたり、とんでもない歌の脱線をしたり、みごと若いものそこのけの声を出してうたいのけたり会場は和気あいあいで爆笑に渦巻いた。



このあと昼食の後、福引きがあり思わぬ景品を引当てて喜こぶ姿もみうけられるなど、この日の慰安会は楽しいうちに午後三時終了した。

希望探訪

九州一の貨物量

大牟田駅を訪れて

〃いまは山中いまは浜、いまは鉄橋わたるぞと……私たちがもの心ついてからも、この歌を歌うようになつてからも、いまも汽車は私たちの楽しい夢を運んでくれます。子供のころの汽車は全く憧れの的でした。人間の動脈に例えるならば鉄道は国の動脈に当るでしょう。この動脈を守つて働く国鉄の組合員の人たちもなかなか大変な仕事なのですそこで今回はこの国鉄へ目をむけてみました

大牟田市の玄関といえばさしずめ大牟田駅である。探訪子はこん回はこの駅へ探訪をこころみた。

事務所へ入ればガラン洞でだれもいない。左手に駅長室、右手に組合の事務室があり、事務室をのぞけば二、三人の人たちが忙しそうにビラ書きをしていた助役さんにあつて駅の仕事、鉄道のことなどを早速伺いましたまず国鉄といえばすぐピンと頭に浮ぶのは汽車のことです。窓をみるとホームでは忙しそうに機関車が煙を吐きながら行つたり、戻つたりして貨車の連結に大童でした。

そこでまず機関車の種類をきいてみました。機関車の前にC二一五六とかD三三一八とか番号がついていますが、このCとかDというのは動輪（車）の数によつて分けてあるそうです。動輪の三つあるのがCで四つのがDです。もちろんDの方がCよりぐんと馬力があるそうで、Cが客車を引張り、Dが貨車を引張るのです。いま日本には機関車が全部で五千両あるとのことです。また客車は一万三千両、貨車は十二万両でこれらが日本の隅々まで活躍しているのです

つぎに駅に働く人たちのことですが、この職場は夜も昼も休まずに働いているので三交替制で勤務しています。現在大牟田駅には一四二名いて、この人たちが二十四時間勤務で交替して働いています。仕事は営業と運転に分れており運転の中には信号手、点てつ手や貨車を結いだり放したりする連結手、踏切番をする踏切番手などがあり、営業には改札口で働く改札手、出札手や小荷物があり、このほかに電話交換手があるそうです。

大牟田駅の大きな特徴といえば大工場地帯を控えているために貨物量の多いことです。全国では大阪、東京、名古屋についで四番目で、九州では一番です。ではどのくらいの量かといえば一日平均二五〇万円の貨物を扱つているそうです。

では大牟田駅で乗り降りする人たちは一日どのくらいの人数でしょうか、調べてみましたら西鉄の電車の乗客数と合せて一日平均一万三千名ぐらいで、とくに一年を通じて多い春の乗降客のときは、一日に二万名をこすときもあるそうです。

この大牟田駅が誕生したのが明治二十四年の四月だから、ちよど満六十六才になります。それからこんどの戦争で焼かれいまの駅がたつたのが昭和二十四年だそうです

（写真大牟田駅と深町助役）

書道、圖画展開く

三川で小、中学生の大会

三川鉱ではさる三月三十一日（日）小、中学生の書道、図画の大会が行われた。

書道は原万田保育園で、図画は三川郵便局裏の諏訪川々畔でそれぞれ行われた。

この日天候もよく日曜とあつて両会場に約三百七十名がつめかけ、とくに父兄や主婦も心配したり激励のためか同伴者も多かつた。なかには原万田で行われた書道大会には窓から身体をのりだして子供にいろいろと声をかけている主婦や父親の姿もみられるなどほほえましい場面もみられるありさまであつた。

なおこの大会の終了後、三日、四日の二日間、両会場での作品展示会が三川講堂で開催されたが、小中学生も交える観らん者がつめかけていた。

作品展示数は約三百七十点であつた。

落書に蔭の力

掃除夫の永井さん

三川支部の教宣部でやつている〃らくがき〃は連日つづけられており、二、三日も目を放せばらくがき綴にはつまりきらないほどに紙がいつぱいになつているという盛況さである。

教宣部ではこのらくがき帳を便所にそなえるとき、ついでだからといつて便所紙も反古紙を切つてそなえつけてやるというサービス至れりの奮闘をやつているが、教宣部ではこれにかかりきりでやるということも業務の都合でできないにもかかわらず、いつもキチンとこの便所紙はそなえつけられており不思議に思つていた。

ところがこれは三川鉱の清掃（とくに便所、浴場）をしている人夫の永井行之助さん（48）のかくれた善行であることがわかつて、教宣部をはじめ支部ではこの永井さんに非常に感謝している。

このほか、落書につかう板なども不足しているのをみつけて、自分で板ぎれを拾つてきて支部で道具を借り、適当に切つて作製していたことなどもわかつた。

早速永井さんと会つてみると、ちようど掃除の最中でほうきを片手にせつせと仕事をつづけていたが手を休めて「教宣部の方がせつかくこういうことをやつておられるので、少しでもためになるならと思つて私がでしやばつてやつてみただけです。やつぱり、どうしても教宣部の方よりも私がやつた方がいつもやつていますので徹底すると思いました」と語つていたがとくに便所内のことでもあり、とかくいやがられる仕事だけに、美しい話であり感謝させられた。

相撲大会

運輸が輝く優勝

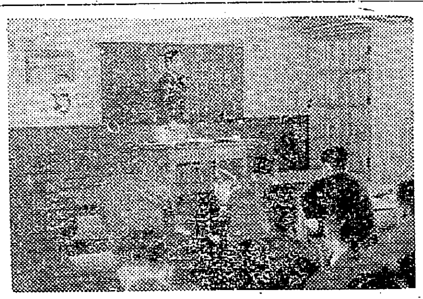
港務支部では去る三十一日（日）部内対抗相撲大会が行われた。試合は団体、個人、三人抜など行われ、肉弾相打つ熱戦がつづけられた。試合は終始緊張したうちにすすめられたが試合成績はつぎの通りである。

〇団体
優勝運輸、二位人事、三位混成の各チーム
〇個人
優勝木本（守衛）二位酒句（守衛）三位川畑（政治局）

行動隊で講座

三川支部行動隊では去る三十一日（日）に組合の二階で行動隊班長会議を行つた。

この日の出席者約五十数名、会議終了後佐賀大学の天野教授をかこんで講座を持ち「賃金闘争と今後の組合運動について」を聴講した



短信

〇四山地域行動隊では七日、練成会を開催、場所三池山、全員徒歩で午前八時半出発。なお山頂で労働歌指導、討論会、余興などを行う。

〇日本棋院荒尾支部では七日、支部結成一周年記念大会および肥後本因坊戦予戦を行う。

〇西紀会（洋画）では美術展を六日より九日まで松屋二階の文化ホールで開催する。

俳句

普光寺吟行作品

田中津根を
畏友坂口かぶんと偶会
梅に逢い四十路の握手固く長し
かぶん受け春光杯にみなぎらす
梅白し友情いまも言澄みて

上田　圭浪
ばしよう枯れ寺領深きに手まり唄
普光寺の鐘凍碑にひびきては
ねはん図絵掛け古りて寺余技もなし

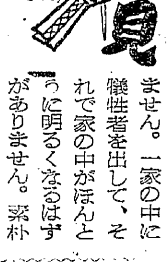
緒方　二郎
街は煙り梅は陽の中に幸せとは

谷口　周
真白なる冬の梅より雲一片
坑夫より瞳の真澄みたる朱欒売り

田中　未草
足袋干されいし寺古りて椿の朱

高田　幸人
くるま座の坑夫の天に梅白し

子の不満



「母ちゃんのおさかな、ちいさかね。みね子のおさかなこんなに大きいのに」先日の夕食の時のことでした。食卓の上に並んでいるお皿をのぞいていた今年三つのみね子がこう云つて、私の顔をいかにも不満そうに見上げたのです

実際、その言葉の通りで、主婦である私の皿の切身だけが家内五人のうち、他の四つにくらべて目立つて小さいのです。たまに買つた魚の切身ではあるし、それはわが家のいつもの事であつたので、誰も気にとめなかつたのですが、幼な子には、それが何か奇異なものに見えたのにちがいありません。私は、はつとして子の顔を見つめました。そしてやはりそれではいけないと思いました。しかもこれまで、その小さい切身も、半分以上は当のみね子の口にはいつていたのです。わが身はけづつても子供の為に、又、たとえこの身はどうなつても、これが女性の崇高な母性愛の姿であるとされていたようです。しかしそれは、映画や演劇などでは、見るものの心をしつかりと、一種の陶酔感で包むかもしれませんが、家庭を明るくする母性愛ではありません。一家の中に犠牲者を出して、それで家の中がほんとうに明るくなるはずがありません。素朴で、純真な幼な子の目にはその不合理の直感として映じた結果の不満であつたにちがいありません。

家庭を明るくする事は、家庭の主婦自身がもつと明るい合理的な母性愛にたちかえることが、まず必要なのではないでしょうか。

宮浦　佐加口

編集部より

一、新しく病気で入院される方は病院名及病棟まで明記して御通知下さい。尚退院の方も御一報下さい。

二、投稿は多くの人の意見を聞くため六〇〇字以内にまとめ、所属、氏名を明記して下さい。（紙上匿名可）

碍こうともしない。

三井病院の医師は、いや検診した医師は臨床医学の大家だろうか。私にはありふれた医師の一人にしかみえなかつたが、そしてその態度もきわめて冷酷だ。いかにも傷手当金泥棒で偽病の様に取扱つている。

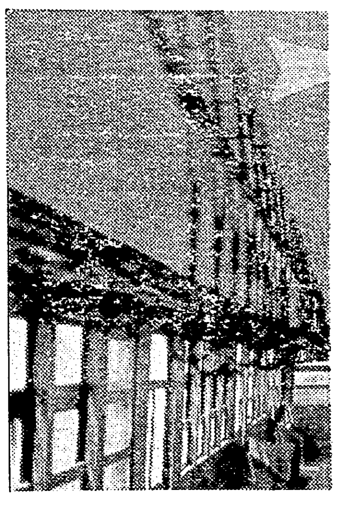
だから私はこんどの検診には

1、かならず労働組合執行部の立

ゆかれてはどうか、御参考迄に。

私傷病検診強化の反対意見について

三十年、三十一年度健保経済の赤字は年々に増加の一途にありこの二年間の状態では三池健康保険組合は最悪の事態に近づく外ないという事情は皆様御承知の事と思います。そこで私達健



嫌がらせにしているような気がしてならない。この点何とかならないか、交渉して善処していただきたい。

技術的検討の段階

右のような苦情が、他にも云わせろやらくがき帳を通じて投稿は、数回見うけられており、港務支部と連絡をとつたが、この

ては、変電所を更に作るなり、技術的な改革を必要としている当の港務支部としては、単に三川だけの問題ではなく、三鉱労組の問題として取り上げ、予算等も含めて、今後精力的に交渉をすすめる事になつております

【写真は暗くて本さえ読めない車内灯】（三川支部、港務支部）

大切な事です。

極端に云えば、組合員の会社貯金を全部労金にかえたら会社は賃金を上げるでしようか。

僕はそう思いません。

会社に貯金していても全国の労働者が団結するなら必ず賃上げができます。ですから団結をこわすようなことはなるべく避けるべきです。

事で、この会に参加する人が年々大勢に増して行くという事は、それがとりもなおさず、大衆に親しまれ庶民に愛好されるのは、歌を唄うことそのものが、気持を明るくさせる効果があるからであろう

歌を唄うという事は、大古から我が国に行なわれて来た事は、文献に明らかである。和歌を始めとし、連歌、今よう等中でも謡曲等

これのちがう声が、音楽的に調和してゆくところに、面白味があるのです」と。

炭鉱においては、教宣部の掛け声ばかりで、歌声が盛んにならないのは、よい指導者に乏しいからであると私は思う。

指導者育成に努力

サークルをつくつて指導者が必要なことはいうまでもありませ

から不当な格差をつけられた者の賃金の修正こそ最も重点的に考慮され、今後ベース・アップ毎にでも最も妥当な格差まで修正する様努力を傾注されたい。

以上のべた二点につきどうしても修正出来ないとすれば、組合員同志間のみにくい争いをきらりとやめて、全員一律に増給されん事を切望する。